

第2回交流会（Zoom オンライン）のご報告

2022年3月13日（土）13:00～15:30に、Zoomを用いて、第2回目の若手の会交流会が開催されました。

全国各地などから17名（発表者4名、聴講者13名）の方々（現職教員や教育委員会職員、大学教員、心理職、大学院生など）にご参加いただき、研究発表（構想中の研究、進行中の研究など）とディスカッションのほか、参加者同士の自由な意見交換を行いました。

充実した研究発表と活発な質疑応答が行われ、参加者の方々より、事後アンケートからは回答者すべての方から有意義であったとの回答をいただきました。今後の企画等についても貴重なご意見を多数いただきましたので、活かしていければと考えております。

年度末のお忙しいところご参加いただいた方々に改めて御礼申し上げます。第1回目の引き続きご参加いただいた方も多数おり、このつながりをより発展させていきたいと考えております。

参加者のご感想（一部）

- ・会員の皆様を身近に感じられてとても嬉しかったです。ぜひ続けて実施していただきたいです。
- ・短時間でしたが、ざっくばらんに意見交換できてよかったです。
- ・他校種、他県の先生方とつながることができました。また、参加したいです。
- ・初めて参加をさせていただきましたが、とても充実した時間となりました。とても話しやすい雰囲気、また参加したいと思いました。
- ・発表時間を長めに設定していただきありがとうございました。大学院修了後、ゼミのような場がなく困っておりましたので、場を設定いただいていること、本当にいつも感謝しております。学会とオフ会の中間の場、とても大事なと発表させていただいて痛感しております、ありがとうございます。
- ・この度は、研究の計画を発表させていただき、大変参考になるご意見や励ましをいただきました。本当にありがとうございました！あたたかい雰囲気の中で安心して発表をすることができました。とても濃い交流ができて今後の研究の励みになりそうです！
- ・大変有意義な時間をありがとうございました。運営上仕方ないのですが、他のルームの先生の研究発表もお聞きしたかったです。
- ・発表について、堅苦しさがなく、みんながフランクに意見を出し合えるアットホームな場となりました。また、意見交流でも自分の悩みを気軽に相談することができ、また次回があれば必ず出席したいなと思いました。
- ・第1回交流会より緩んだ雰囲気で話がしやすかったです。研究者、実践者、実践を研究に生かしている方、研究してみたい方、様々な方がいらっしゃることで話が盛り上がりを感じました。純粋に楽しかったし、学びになりました。これが私が学会に入ったころに感じた学校心理学会の雰囲気だよなと、改めて温かさを感じる時間でした。
- ・今後の活動の希望が沢山出て、それは学会や大会の活動の新しい土台となるもののように思いました。研究発表は、事前に内容がわからないため、十分な討論となるにはやはり時間が少ないように思います。しかし、継続していくことで、発表者・参加者ともに発表や討議の仕方に慣れていくような気がします。また、ぜひ参加者が増えてほしいと思いますので、今の参加者へ、知人への勧誘をお願いしますとっと積極的にお願いしてもいいかと思いました。

運営委員の総括

- ・交流会の中で、若手の会＝学会とオフ会の中間、という発言があり、そういう位置づけで進められるとよいと感じる。
- ・同じニーズをもつ若手会員同士が日常でもつながる場があるとよいかもしれない。（→Slack の活用など）
- ・若手の会を通じて、若手会員が自分の思いを発信でき、学会へのコミット感を高められるようになることが大切になると感じる。
- ・学校現場の先生方を若手の会に誘いたい、まず学会に入会することへのハードルが高いように感じる、とのご意見があり、学会全体で入会しやすくする工夫をしていく必要があると感じる。
- ・今後の開催にあたって企画等多くの意見をいただいた。全ての実現は難しいかもしれないが、積極的に意見を取り入れていきたいと感じる。
- ・年２回の定期的な開催において、準備を進めていきたい。